

「反応制御でエネルギーと環境の未来を拓く ～さきがけ若手研究者たちの挑戦～」

【開催日時】2023年1月7日（土）13:00～18:00 【参加申込み】<https://form.jst.go.jp/enquetes/reaction-sympo2022>

【開催形式】オンライン開催（Zoom Webinar）

（参加費無料）上記URLまたは右記コードからご登録願います。

定員に達しましたら締め切りますので、お早めにご登録下さい。

【問合せ先】国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部

さきがけ「反応制御」領域担当 controlled-reaction@jst.go.jp



研究総括



関根 泰

【プログラム】

13:00～13:10 開会挨拶と研究領域の紹介（さきがけ「反応制御」関根 泰 研究総括）

13:10～13:40 基調講演(A)雨澤 浩史（東北大学 多元物質科学研究所 教授）

「多次元オペランド計測で解き明かす反応制御の世界」

13:40～14:00 研究発表① 飯村 壮史（物質・材料研究機構 機能性材料研究拠点 主任研究員）

「準格子間拡散を利用した中温域高速ヒドリドイオン伝導体の創製と拡散機構の解明」

14:00～14:20 研究発表② 大宮 寛久（京都大学 化学研究所 教授）

「電子制御型有機触媒の創製」

14:20～14:40 研究発表③ 桑原 泰隆（大阪大学大学院工学研究科 准教授）

「酸素欠損型モリブデン酸化物のプラズモン光反応場を利用した革新的CO₂変換反応の開発」

14:40～14:50 休憩

14:50～15:10 研究発表④ 杉本 泰（神戸大学 大学院工学研究科 准教授）

「Mie共鳴による磁場増強を利用した光化学反応プラットフォームの構築」

15:10～15:30 研究発表⑤ 須田 理行（京都大学大学院工学研究科 准教授）

「スピン角運動量の能動的制御による革新的電気化学反応の創出」

15:30～15:50 研究発表⑥ 椿 俊太郎（九州大学大学院農学研究院 准教授）

「電磁波駆動触媒反応によるリグノセルロースの熱化学変換」

15:50～16:10 研究発表⑦ 古川 森也（北海道大学 触媒科学研究所 准教授）

「インターメタリック反応場でのプロトニクスを利用した高効率触媒系の開発」

16:10～16:20 休憩

16:20～16:40 研究発表⑧ 細見 拓郎（東京大学 大学院工学系研究科 助教）

「固体表面イオン配列の能動的制御を利用した高選択的触媒化学反応の開発」

16:40～17:00 研究発表⑨ 山添 誠司（東京都立大学 大学院理学研究科 教授）

「振動エネルギーで駆動する新しい触媒反応系の開拓」

17:00～17:20 研究発表⑩ 山本 瑛祐（名古屋大学 未来材料システム研究所 助教）

「イオン伝導性原子膜の能動的制御と中低温イオニクス材料の創製」

17:20～17:50 基調講演(B) 和田 雄二（東京工業大学 国際先駆研究機構 特任教授）

「アカデミアによる学理研究と社会実装による社会貢献の間 — マイクロ波化学研究を例に」

17:50～18:00 閉会挨拶（さきがけ「反応制御」関根 泰 研究総括）



飯村 壮史
(NIMS)



大宮 寛久
(京都大学)



雨澤 浩史
(東北大学)



桑原 泰隆
(大阪大学)



杉本 泰
(神戸大学)



須田 理行
(京都大学)



椿 俊太郎
(九州大学)



古川 森也
(北海道大学)



細見 拓郎
(東京大学)



山添 誠司
(東京都立大学)



山本 瑛祐
(名古屋大学)



和田 雄二
(東京工業大学)

「反応制御でエネルギーと環境の未来を拓く ～さきがけ若手研究者たちの挑戦～」

【主催】

国立研究開発法人 科学技術振興機構

【協賛】（会告含む、五十音順）

応用物理学会

光化学協会

高分子学会

触媒学会

水素エネルギー協会

石油学会

電気化学会

日本化学会

日本固体イオニクス学会

日本ゼオライト学会

日本セラミックス協会

日本電磁波エネルギー応用学会

日本分析化学会

理論化学会